

研修カリキュラム

事業者名: 社会福祉法人三鷹市社会福祉事業団

研修カリキュラム 講義・演習(実習)		
1 職務の理解	6	時間
(1) 多様なサービスの理解		
(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解		
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9	時間
(1) 人権と尊厳を支える介護		
(2) 自立に向けた介護		
3 介護の基本	6	時間
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携		
(2) 介護職の職業倫理		
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント		
(4) 介護職の安全		
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9	時間
(1) 介護保険制度		
(2) 障害福祉制度及びその他制度		
(3) 医療との連携とリハビリテーション		

実施計画					実施内容	
カリキュラム名・時間数						
1 職務の理解	6	時間			1 職務の理解	
	通学	通信	合計		(1) 講義のみ	
(1) 同左	2.5		2.5		(2) 講義及び演習(介護現場紹介動画を視聴し、印象に残った場面や感想を各自発表する)	
(2) 同左	3.5		3.5			
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9	時間			2 介護における尊厳の保持・自立支援	
	通学	通信	合計		講義及び演習(身体拘束事例をもとに、本人の尊厳について考え、拘束しない介護の工夫を話し合う)及び通信講習	
(1) 同左	1.5	3	4.5		(1) 講義及び演習(身体拘束事例をもとに、本人の尊厳について考え、拘束しない介護の工夫を話し合う)及び通信講習	
(2) 同左	0	4.5	4.5		(2) 通信講習のみ	
3 介護の基本	6	時間			3 介護の基本	
	通学	通信	合計		(1) 講義及び通信講習	
(1) 同左	1.5	0.5	2		(2) 通信講習のみ	
(2) 同左	0	1	1		(3) 講義、演習(事例を示し、事故予防・感染対策についてグループで話し合い、発表する)及び通信講習	
(3) 同左	1	1	2		(4) 講義及び通信講習	
(4) 同左	0.5	0.5	1			
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9	時間			4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	
	通学	通信	合計		(1) 講義、演習(要介護認定の手順等をワークシートにまとめる)、通信講習	
(1) 同左	1.5	1.5	3		(2) 通信講習のみ	
(2) 同左	0	3	3		(3) 通信講習のみ	
(3) 同左	0	3	3			

研修カリキュラム		
講義・演習(実習)		
5 介護におけるコミュニケーション技術	6	時間
(1) 介護におけるコミュニケーション		
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション		
6 老化の理解	6	時間
(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常		
(2) 高齢者と健康		
7 認知症の理解	6	時間
(1) 認知症を取り巻く状況		
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理		
(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活		
(4) 家族への支援		
8 障害の理解	3	時間
(1) 障害の基礎的理解		
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識		
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解		

実施計画					実施内容	
カリキュラム名・時間数						
5 介護におけるコミュニケーション技術	6	時間			5 介護におけるコミュニケーション技術	
	通学	通信	合計			
(1) 同左	2	1	3		(1) 講義、演習(利用者と介護職に分かれてロールプレイを行い、非言語チャンネルや共感について体験する)及び通信講習	
(2) 同左	1	2	3		(2) 講義及び通信講習	
6 老化の理解	6	時間			6 老化の理解	
	通学	通信	合計			
(1) 同左	1.5	1.5	3		(1) 講義及び演習(高齢者疑似体験用具で身体老化を疑似体験し、グループで日常生活で影響する場面を考え発表する。)及び通信講習	
(2) 同左	1.5	1.5	3		(2) 講義及び通信講習	
7 認知症の理解	6	時間			7 認知症の理解	
	通学	通信	合計			
(1) 同左	1	1	2		(1) 講義、演習(認知症当事者の言葉を読み、感想を言い合う)及び通信講習	
(2) 同左	1	0.5	1.5		(2) 講義及び通信講習	
(3) 同左	0.5	1	1.5		(3) 講義及、演習(具体的な事例への対応についてワークを行い、発表する)及び通信講習	
(4) 同左	0.5	0.5	1		(4) 講義及び通信講習	
8 障害の理解	3	時間			8 障害の理解	
	通学	通信	合計			
(1) 同左	0.5	0.5	1		(1) 講義及び通信講習	
(2) 同左	0.5	0.5	1		(2) 講義及び通信講習	
(3) 同左	0.5	0.5	1		(3) 講義及、演習(障害の受容と介護職に求められる対応について、事例に基づきグループで話し合う)及び通信講習	

研修カリキュラム		
講義・演習(実習)		
9	こころとからだのしくみと生活支援技術	75 時間
ア 基本知識の学習 10～13時間		
	(1) 介護の基本的な考え方	
	(2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	
	(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
イ 生活支援技術の講義・演習 50～55時間		
	(4) 生活と家事	
	(5) 快適な居住環境整備と介護	
	(6) 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	
	(7) 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	
	(8) 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	
	(9) 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	
	(10) 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	
	(11) 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	
	(12) 死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護	

実施計画					実施内容	
カリキュラム名・時間数						
9	こころとからだのしくみと生活支援技術	75	時間		9 こころとからだのしくみと生活支援技術	
ア 基本知識の学習 10 時間					ア 基本知識の学習	
		通学	通信	合計		
	(1) 同左	1.5	0	1.5	(1) 講義のみ	
	(2) 同左	0.5	1	1.5	(2) 講義及び通信講習	
	(3) 同左	4	3	7	(3) 講義及び通信講習	
イ 生活支援技術の講義・演習 55 時間					イ 生活支援技術の講義・演習	
		通学	通信	合計		
	(4) 同左	2	3	5	(4) 講義及、実技演習(限られた食材でのメニュー作り)及び通信講習	
	(5) 同左	3	2	5	(5) 講義、実技演習(福祉用具の具体的な使用方法)及び通信講習	
	(6) 同左	6	0	6	(6) 講義及び実技演習(座位保持不可の利用者の衣類着脱)	
	(7) 同左	12	0	12	(7) 講義及び実技演習(全面介助でのベッド～車椅子～トイレへの移動・移乗)	
	(8) 同左	6	0	6	(8) 講義及び実技演習(介護食調理、食事介助及び口腔ケア)	
	(9) 同左	6	0	6	(9) 講義及び実技演習(浴室での介助のロールプレイング及びベッドでの洗髪)	
	(10) 同左	6	0	6	(10) 講義及び実技演習(トイレ介助のロールプレイング及びオムツ着脱)	
	(11) 同左	3	1	4	(11) 講義及び実技演習(シーツ交換等のベッドメイキングや褥瘡予防体位変換)及び通信講習	
	(12) 同左	3	2	5	(12) 講義及び通信講習	

研修カリキュラム	
講義・演習(実習)	
(実習)※	(50～55時間中12時間以内)
介護実習	○時間
ホームヘルプサービス同行訪問	○時間
在宅サービス提供現場見学	○時間
ウ 生活支援技術演習	10～12時間
(13) 介護過程の基礎的理解	
(14) 総合生活支援技術演習	
10 振り返り	4 時間
(1) 振り返り	
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	
追加カリキュラム	時間
計	(130 時間)

実施計画					実施内容	
カリキュラム名・時間数						
(実習)※	0	時間			(実習)※	
					実施しない	
					実施しない	
					実施しない	
ウ 生活支援技術演習	10	時間			ウ 生活支援技術演習	
		通学	通信	合計		
(13) 同左	3.5	0	3.5		(13) 講義及び実技演習(事例に基づき個別援助計画の作成演習を行う)	
(14) 同左	6.5	0	6.5		(14) 講義及び実技演習(2つの事例に基づき一連の介護技術を行い、技術習得度の評価を受ける)	
10 振り返り	4	時間			10 振り返り	
		通学	通信	合計		
(1) 同左	3	0	3		(1) 講義及び演習(研修を通じて学んだこと、今後も実践を通じて学ぶべきことを考え、発表する)	
(2) 同左	1	0	1		(2) 講義のみ	
計	130	時間				